

平成22年12月17日

瑞浪超深地層研究所の施設活用について

超深地層研究所跡利用
検討委員会事務局

昨年度に実施された第9回の超深地層研究所跡利用検討委員会（平成21年10月9日）において、瑞浪超深地層研究所（以下、「研究所」といいます）における体験学習への取り組み状況と深度300mステージの活用方策、アンケートの集計結果等をご報告させていただきました。

今回は、本委員会以降の研究所における体験学習への取り組み状況と深度300mステージの活用方策の実施状況等について紹介させていただきます。

1. 研究所における体験学習への取り組み

①児童・学生を対象とした先端科学体験

高校生のための先端科学体験合宿プログラム「サイエンスキャンプ」を平成22年8月に開催しました。「感じてみよう!!地球のすがた～地下の世界を探る～」と題したテーマのもと、日本全国から高校生が参加して地層や地震・火山等の地球科学について学びました。

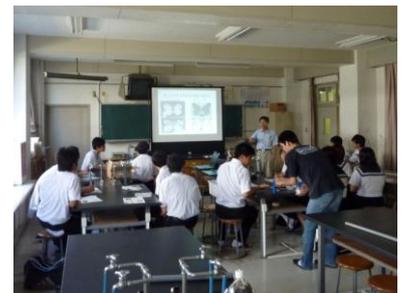
また、文部科学省が進める科学技術、理科・数学教育を重点的に行う学校「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）」に指定された高校の研究所見学の受け入れや熱田高校主催の実験教室への協力、中津川市立加子母小・中学校への講師の派遣も行いました。



サイエンスキャンプ



SSHの施設見学



熱田高校主催の実験教室への協力

②施設見学会

施設見学会を毎月1回（原則：第4日曜日）開催しています。昨年引き続き、地下の世界をより多くの人に体験していただくため、入坑機会の拡大を行っています。平成21年10月から平成22年11月までに、4,659名（うち入坑者数：2,625名）の方々にご見学をいただきました。また、平成22年11月28日に見学者数が累計2万人を達成いたしました。

③各イベントへの出展及び報道関係等

瑞浪市、中部経済産業局主催の「おもしろ科学館 2010in みずなみ」等、各イベントへの出展を行いました。

報道関係では、ビジネスアスキー「仕事の現場」等の新聞・雑誌掲載やワールドビジネスサテライト等のテレビ放映による研究所の紹介等がありました。



おもしろ科学館 2010in みずなみ

2. 情報発信

①知識マネジメントシステムトおよび CoolRepH22

知識マネジメントシステム（地層処分の安全確保の論拠を支えるデータベース、技術報告書などを適切に管理するシステム）および CoolRepH22（平成 21 年度までに進めてきた地層処分の研究開発の成果をインターネット上にまとめた報告書）をホームページで公開しています。

②ホームページコンテンツの追加・更新

研究所の地下深くの様子を分かりやすく楽しく学べるコンテンツとして、研究坑道の壁面写真やスケッチを用いた、パソコン上で地層の観察ができる体験ソフトの壁面データの更新を行いました。また、地下水の特徴を分かりやすく楽しく学べる体験ソフトを新たに追加しました。



地下水を楽しく学んでみよう！
(体験ソフト)

③情報・意見交換会の開催

地層科学研究の研究開発成果や状況等について情報交換やご意見をいただくことを目的に毎年開催しています。今年度は10月19日に瑞浪市地域交流センター「ときわ」にて開催し、約140名の方々に参加いただきました。



平成 22 年度情報・意見交換会

④学会等における受賞・表彰

土木学会や資源・素材学会の論文賞や日本地下水学会の優秀講演賞、地下構造の調査手法の開発等、受賞や特許取得がありました。

3. 深度 300m ステージの活用状況

①深度 300m ステージにおける展示

深度 300m ステージの研究坑道の各所に、坑道内で行っている研究内容を説明したパネルを設置しました。また、研究に使用する機器（パッカー）の展示も行っています。



深度 300m 研究アクセス坑道
(説明用パネルの展示)



深度 300m 予備ステージ (避難所)
(パッカーの展示)

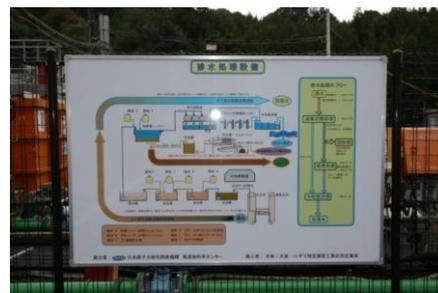
4. 見学用説明資料およびパネルの改良

①見学用説明資料およびアンケート内容の改定

施設見学の際に使用する概況説明資料やアンケート用紙の内容を改定しました。

②地上設備の説明パネルの改良

地上設備の説明の際に使用するパネルを改定しました。



排水処理設備の説明パネル

③管理棟の展示コーナーの整備

研究坑道の紹介ビデオや壁面スケッチパネル、研究坑道の写真パネルなどを管理棟展示コーナーに追加展示しました。



管理棟 展示コーナー

5. 今後の施設活用について

研究所では、体験学習の場としての活用や、研究成果等の情報発信、深度 300m ステージの活用、外部機関の利用の促進等に引き続き取り組んでいきます。

以上